

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	家族の要望、事故などのリスクの観点から、身体拘束の全廃には至っていないことから、解除に向けたさらなる取り組みに期待します。	身体的拘束について、可能な限り解除していくように努める。	どう工夫をすれば、身体拘束がなくなるのか、日中の過ごし方、夜間の過ごし方の観察を密にして方策を考える。わずかな時間でも拘束が解除される時間を見つけ出していく。	12ヶ月
2	22(9)	時々面会をしながら、別々の施設で過ごされていた夫婦がおり、当事業所に空き部屋がでた際に同じ事業所に住まないか勧めたところ、今は一緒に寄り添い暮らしている。利用者がその人らしく暮らし続けるよう、一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努め、より実践につながることを期待する。	一人ひとりの意向や思いを今以上に汲み取り、その人らしい暮らしが出来るように支える。	職員各々がコミュニケーションをこまめに取り、情報を共有し、その人らしい生活が出来るように実践していく。	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。